

## 「環境と測定技術」投稿・執筆の手引き

### 1. (投稿資格)

投稿者は、以下のとおりとします。

- (1) 本協会会員及び会員に所属する者、
- (2) 官庁及び大学等の研究・試験機関、
- (3) その他出版・会誌委員会（以下「委員会」という）が認めた者、

### 2. (原稿の内容)

原稿は、環境測定分析に関する情報及び成果物の提供等、本協会定款の目的に資することにご留意の上、それぞれ下記区分ごとに示す要件を満たすような内容でご執筆ください。下記区分は、執筆をお願いする際に協会より指定する場合と、ご投稿又はご寄稿後に協会より指定する場合がございます。

#### (1) 技術報文：

- ① 環境計量に関する法律、行政、経営、技術などに関する有用な研究成果、あるいは知見を統合した成果であって、新規性又は独創性があるもの。
  - ② 独創性は備えていないが、実践的価値があるもの。
  - ③ 経営、調査、計画、施工、現場計測などの報告で、有用な情報を含むもので結果が明確に示されているもの。
- (2) **技術資料・委員会報告**：測定データ、統計データなどが主体であり、有用な情報であるもの。
- (3) **新技術紹介**：新たに開発したり、新製品等に利用したりしている新技術を紹介したもの。
- (4) **環境分析に関わる基礎知識**：化学分析、機器分析の測定原理や測定方法、分析機器の構造、サンプリングや精度管理など、対象とする項目や分野は問わず、環境分析を行っていく上で知っておくべき基礎知識を紹介したもの。
- (5) **海外文献抄録**：海外の測定・分析に関する技術的文献を日本語に翻訳して紹介するもの。
- (6) **随筆、紀行文、地域の名所紹介等**：環境関連などをテーマとして、幅広く会員から紹介するもの。
- (7) その他、委員会が必要と認めたもの。

### 3. (シリーズ原稿の投稿、寄稿)

シリーズ原稿をご投稿又はご寄稿される場合には、事前に協会にお申し出ください。その場合、数編の原稿の内容はそれぞれ独立した体裁をもつものとしてください。

### 4. (執筆要領)

- (1) 原稿本文は、明朝体10.5ポイントとしてください。ただし、図・表や見出し等は指定したもの以外でも問題ありません。
- (2) 原稿は、パソコンでwordファイルとして作成し、CDなどを郵送するか、又はE-mailで事務局宛に提出してください。
- (3) 1号あたりの原稿は、任意のA4判用紙を用い、図・表・写真を含め、「環境と測定技術」に

おける刷り上がり20頁を越えない程度(全て文字の場合、20頁で約32,000字)としてください。これを超える場合は、委員会が認めた場合を除き、2号以上にわたって掲載いたしません。本文は、例えば、1. 緒言、2. 実験、3. 結果、4. 考察、5. 緒言などの見出しをつけてください。見出しの記号は、大見出し1. 2、…、中見出し1.1、1.2…、小見出し1.1.1、1.1.2. …などとしてください。

- (4) 原稿は2段組にする必要はありません。図・表は原稿には挿入せず、本文中に図・表の挿入位置を<図1挿入>などのように記載して下さい。ただし、紙面の関係で挿入位置が挿入希望位置からずれることもありますので、ご了承ください。
- (5) 掲載誌の別刷りを希望する場合は、原稿提出時にお申し出ください。別刷り印刷費用は別表のとおりです。
- (6) 原稿の終わりには、差し支えない範囲で著者の名前、勤務先、役職名、所在地、電話番号、FAX番号、を付記してください。
- (7) 文章は「である」調でご執筆ください。
- (8) 文字は、常用漢字(専門用語は除く)、新仮名使いを用い、1字1合用使用してください。ただし、専門用語については、「学術用語集(化学編、物理編)」を原則として使用してください。これにない用語は、JISで用いられている用語を使用してください。
- (9) 句点、句読点等(。)(、)(.)の区分を明確にし、1文字を使用してください。文字バケすることがあるため、図表以外は半角カタカナの使用はできる限りお控えください。
- (10) 行を改めるときは、行の始まりを1文字あけ、2文字目から書き始めてください。
- (11) 一般的でない記号あるいは用語(外来語を含む)を用いるときは、注釈を付けてください。
- (12) 引用及び参考した箇所には「<sup>1)</sup>、<sup>2)</sup>…」のような記号を付け、原稿本文の最後に引用文献及び参考文献として、「著者名・題名・書名・巻数・号数・頁(始終)・発行所名・発行年月」の順に明記してください。
- (13) 図表や写真は、記載する描線、記号、文字等が鮮明なものをご使用ください。写真は、校正原稿の刷り上がり後の画質に問題がある場合には、元の写真データ(jpegファイル等)の提出を求めることがあります。
- (14) 特定の団体、製品、工法等の宣伝や、新技術等を誹謗中傷する内容は含まないようお願いいたします。
- (15) 本誌は、電子データ化し、当協会ホームページ上で公開する可能性があります。原稿を提出いただいた時点で、その公開に同意いただいたものとみなします。

## 5. (原稿提出時の注意)

原稿を提出するときは、万一の事故を考え、また原稿内容に関する問い合わせがあったときのために、必ず控えを手元に保管してください。なお、掲載した原稿(図・表・写真を含む)は掲載の有無にかかわらず返却をいたしませんので、ご了承ください。

## 6. (出版・会誌委員会における確認)

- (1) ご寄稿いただいた原稿については本委員会において、誤字・脱字の有無を始め、2に規定する原稿の内容に従って、確認をすることとし、内容に対してできる限り信頼性が確保されるよう、執筆者と情報交換します。

- (2) 内容によって重大な誤りがある場合、商品の宣伝そのものである場合、一方的な個人的な見解を主張する内容の場合など、掲載することにより、協会の信頼を損ないかねないおそれのある場合には、掲載しないことがあります。その場合、著者に対して、その旨連絡をいたします。
- (3) 未発表の内容であり、より専門的で高度な知見を要する場合には、当該分野に係る専門家から助言を求める場合があります。
- (4) 委員会において確認した結果について、校正が必要な場合には著者に、その旨依頼いたします。

## 7. (著者による校正)

著者校正は、一原稿につき一回とさせていただきます。著者は、校正刷りを受領後、2日以内に校正を行い、直ちに返送してください。なお、その際に協会より一部訂正等をお願いする場合がございますが、あわせてご対応をお願い申し上げます。ご依頼した期間内にご返答がなかった場合には、事務局により校了し印刷を行います。

## 8. (著作権)

本誌に掲載された原稿の著作権は著者に帰属し、その編集著作権は当協会に帰属いたします。なお、会誌に「掲載された原稿の著作権については、著者に帰属する。」旨、明記いたします。

## 9. (転載, 引用)

本誌に掲載された原稿に対して引用の希望があった場合、協会より執筆者にその旨を連絡し、執筆者の了承を得てから引用を許可いたします。また、本誌に掲載された原稿に対して転載の希望があった場合、転載希望者に転載許可願及び転載後の原稿を提出していただきます。それらを執筆者に確認いただき、執筆者の了承を得てから転載を許可いたします。

## 10. (原稿の受付日)

原稿が本協会に到着した日をもって原稿の受付日といたします。

※上記以外の項目について、疑義がある場合または質問がある場合、下記あてにEmail又はFaxにてご連絡ください。

連絡先：134-0084 東京都江戸川東葛西 2-3-4

一般社団法人日本環境測定分析協会 出版・会誌委員会 事務局

TEL：03-3878-2811

FAX：03-3878-2639

E-mail：jemcaeducation@jemca.or.jp

2019年10月 改正

別表

別刷り誌1部の価格(税抜)

|      | ページ数※  |        |         |
|------|--------|--------|---------|
|      | 4ページ以内 | 5～8ページ | 9～12ページ |
| モノクロ | 40円    | 80円    | 160円    |
| カラー  | 70円    | 140円   | 200円    |

※表紙，裏表紙を含む

\* 発送手数料は一律1,000円(税別)となります。